



学校便り 6月号

山口市立嘉川小学校 (平成28年5月27日発行)

〒754-0897 山口市嘉川4986番地 ☎ 083-989-2206

「安きにありて危を思う」

今年の4月14日、熊本県熊本地方を中心に最大震度7マグニチュード6.5の地震が起きました。続いて4月16日には、最大震度7マグニチュード7.3のさらに強い地震が起きました。今現在も、熊本と大分の両県にかけて毎日のように余震が続いています。

突然命を失われた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。そして何より、一日でも早く復旧復興が進み、心安らかな生活が戻ることをお祈り申し上げます。

さて、鴨長明が記した『方丈記』に、今から830年以上前に京都を中心として発生した地震で余震が3カ月程度続いたことが記されており、「地震直後は、この世の無常を唱えて、欲や邪念が薄らいでいたが、月日がたつとそんなことを言う人はいなくなった。」という部分があるそうです。ここ10年の間に私たちは、経験したことのないような地震、台風、津波、記録的短時間大雨などの自然災害を目の当たりにしました。これらの自然災害から感じたり考えたりしたことが「子どもたちがたくましく生き抜く力の育成」につながるような学校安全教育をしなければならないと思います。

次に、「安きにありて危を思う 危を思えば備えあり 備えあれば憂いなし」という成語があります。本校では、5月17日に、授業中に火災が起こったことを想定し、限られた避難経路を使った避難訓練をしました。また、6月9日には「保護者への児童の引渡し訓練」が行われます。熊本地方であれほど強い地震が2度も起こると想定した人はほとんどいませんでした。どんなに想定していても、想定外のことが起こります。とすれば、人間の力の限界を謙虚に受け止めることが大切だと思います。そして、想定外の事柄に対する適切な判断と行動を支えるのは、災害や事件・事故などの不幸な出来事を他人事とせず、常に当事者意識をもつこと。可能な限り、想定や対応策を考え、意見を交換し、情報の引き出しを多くしておくことだと思います。

最後に、「ふるさとを愛し、豊かな心を持ち、たくましく生き抜く児童の育成」に向け教育活動の充実を図っていく中で、安全安心な学校づくりも保護者や地域の皆様とともにめざします。引き続き、本校教育に対する御理解と御支援をお願いいたします。